

令和2年度事業報告

令和2年度は、地域ニーズの多様化や全国的に人手不足が続くなか、国の「生涯現役社会」に向けた取り組みもあって高齢者が就業する環境が整備されて、シルバー人材センター会員の活躍の場が少しずつ増えてきている社会環境にありました。

新城市シルバー人材センターにおいても引き続き人手不足による市内事業者などからの就業依頼を頂き、特に派遣業務において微増ではありますが、コロナ禍でも、前年度を若干上回る数値を残しています。

令和2年度は、「新型コロナウイルス」の感染問題で国内はもとより、世界中の経済活動に大きな影響を与えることになりました。年明けからは、新型コロナウイルス感染防止のため、新城市内で計画されていまして大きなイベントは軒並み中止となり、学校や施設も休校や時間短縮になりシルバーの事業運営にも大きな影響を受けました。

こうしたなか、令和元年度に女性委員会を発足し女性が入会するきっかけになるための事業（講習会や教室）を計画していましたが、「新型コロナウイルス」の感染予防の観点から事業が実施出来ずに女性会員数が減少しました。

事業実績は、会員数 634 人で前年度（630 人）と比較して 4 人（1%）の微増となりました。なお、請負（草刈り、剪定、清掃など）の契約金額は、189,624 千円と前年度（197,139 千円）と比較して減額となりました。また、派遣事業に関しましては、契約金額が 89,430 千円と前年度（87,081 千円）に比べ 2.6%の微増となりました。

コロナ禍により会員の皆さまにいろいろご心配をおかけしましたが益々のご理解、ご協力をお願いし、コロナウイルスに感染をしないように予防対策の徹底を今後よろしくお願いいたします。

以下、令和2年度事業の詳細は、次のとおりです。

【年度別事業実績】

年度	年度末 会員数	4月から3月末までの入退会		契約実績（単位：千円）		
		入会	退会	請負	派遣	計
02	634	73	69	189,624	89,430	279,055
01	630	86	67	197,139	87,081	284,220
30	611	64	45	200,603	62,659	263,262
29	592	73	63	198,454	50,618	249,072
28	582	68	59	190,451	41,974	232,425

1 会員数の拡大

ハローワーク新城と新城市生涯現役促進地域連携協議会の連携を深め、短期的な就労を希望する方に、シルバー人材センターの業務や就業内容を紹介していただきシルバーへの入会の促進を図った。

入会する会員の希望を尊重しスムーズに希望する職種に就業できるようにするため、入会説明会の後で個人面談を行い就業先などのきめ細かな案内をする方法に変更した。

シルバーの雇用には多様な就業分野があり、希望する職種や時間帯に即した就業ができることの広報を頻繁に行い、新城市シルバー人材センターのイメージアップのための各種活動を行った。

2 就業機会の創出と会員の就業率の向上

地域の人手不足解消のため、就業を希望する方と求人する事業者とを結びつける役割を果たす、新城市生涯現役促進地域連携協議会と新城市シルバー人材センターと連携して面接相談会や各種講座を開催して会員の就業機会の拡大に努めた。

また、全会員を対象に実施した「就業意向調査」を活用しそれぞれの会員が希望する就業先の職種や、勤務日数、時間を尊重した就業案内を行い、就業率の向上を図った。

3 安全・適正就業の推進と技術、資質向上を図る講習会の開催

年間3回開催していた安全委員会の開催以外に安全委員を3グループに分けて多くの就業場所を巡視する機会を設け、事故防止の巡視活動を多くすることで事故の削減に努めた。また、会員の安全に対する意識を高めるため安全標語を令和2年度定時総会や機関紙「頑張らまいかん」により会員に周知した。

さらに、愛知県シルバー人材センター連合会が安全・適正就業パトロールを実施して就業会員の安全意識の向上、危険個所の点検を実施した。

4 自主財源の確保に向けた事務費の見直し

令和2年度から事務費を引き上げるため、関係機関との調整を図り、4月から実施した。この事務費率を10%に引き上げることで、自主財源を確保し市や国からの補助金に依存する体質を少しでも軽減できる見込みとなった。

5 シルバー事業の普及啓発と広報活動

機関紙「頑張らまいかん」を定期的に発行するとともに、会員の募集や業務案内を新聞折込により、シルバー人材センターの啓発活動に努めた。

シルバー機関紙「頑張らまいかん」の定期発刊やホームページをリニューアルし、情報発信に努めた。例年の「シルバーまつり」を中止した代わりに「シルバーまあけつと」を開催しシルバー事業の普及啓発を行った。地域に根差した事業活動の展開により地域との信頼関係の構築をした。

6 平成 30 年度を初年度とする「第 3 次中期計画」の履行

新城市シルバー人材センターの「第 3 次中期計画」の進捗状況を検証するため、総務部会を開催して計画で掲げた目標値に比べた実績数値を分析し、次年度以降の事業展開に生かせるよう対策や方針を検討しゴールド会員制度の施行に向けて総務部会等で協議した。

7 公益社団法人の適正な運営

公益社団法人としての適切な事業運営を行うための、設立目的に沿った事業運営に努めた。

市からの指定管理施設である「いきいきライフの館」と「鳳来高齢者生きがいセンター」の営繕計画をもとに照明の LED 導入、会議室・事務室の省エネエアコン交換・トイレ手洗い水栓の取替えをし、利用者に「使い勝手の良い」、「利用しやすい」施設を目指すことで利用率の向上に努めた。

8 調査研究事業

「シルバーまあけっと」の開催や「農業班」等の新規事業の企画・立案やその実態を研修し事業の多様化や新規事業化発展の進行に努めた。

9 有料職業紹介事業

人手不足の市内事業者や生涯現役促進地域連携協議会と取り組みを PR したが、実績はありませんでした。